

地域の情報誌を発行しました!!

豊里圏域版 社会資源集

いくつになっても誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けたいと願う方は多いのではないのでしょうか。この豊里圏域版社会資源集は、地域の情報を必要としている方、もうすでに地域で活動している皆様に役立つ情報が掲載してあります。この情報により住民の方の自主的な活動につながることを目的に発行し、その結果、地域住民の健康や生きがいづくり、地域活動の活性化になればと思い作成しました。



ふれあいサロン森のおうち



豊里地区シルバークラブ連合会



豊里の杜ふれあいサロン



田倉三匹獅子保存会



今鹿島祇園祭



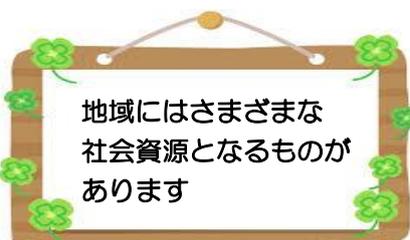
ゆかりの森昆虫館



百家竜水万灯祭



老人福祉センターとよさと



地域にはさまざまな
社会資源となるものが
あります

令和5年3月版

生活支援体制整備事業とは？

年をとっても誰もが安心して地域で暮らし続けられるよう「支えあいの地域づくり」を行うものです。この事業は介護保険上でも全国各自治体に取り組むべき事業として位置づけられており、つくば市では平成27年度から事業が開始されています。令和2年度からは「つくば市社会福祉協議会」が受託をして事業を推進しています。

第1層協議体（つくば市全域）

地域では解決できない課題に対して解決策を図ることの協議の場



第1層と第2層の連携（生活支援コーディネーターが調整役）

第2層協議体（7圏域／大穂、豊里、谷田部西、谷田部東、桜、筑波、荃崎）

課題解決に向けた住民主体の活動の場〈生活支援〉



第2層〈生活支援〉では具体的にこんな活動が地域に広がることを目指します

通いの場

地域の皆さんが気軽に集まり、体操や趣味活動、お茶飲み会などで楽しむ居場所をつくります。



話しあいの場（協議体）

助け合いや支え合いの仕組みづくりについて、地域住民や関係機関等と一緒に話し合う場をつくります。



見守り・声かけ

地域でさりげない見守り・声かけ活動が広がることにより、信頼関係が生まれ、困りごとに気づくことができます。



生活支援活動

ごみ出し、電球交換、庭木の水やりなど…ちょっとした困りごとをご近所同士で解決できる仕組みをつくります。



本冊子は区会区長に1部届けてありますので、ご興味のある方はご参考ください。また、本冊子が必用な方は下記事務局までご相談ください。

お問い合わせ先

社会福祉法人 つくば市社会福祉協議会 中央支所 ☎029-847-0231